

【記録写真】

「令和元年度十和田八幡平国立公園
岩手山地区パークボランティア研修会」(1/2)ー
主催 環境省盛岡管理官事務所

【メモ】

【日時】 令和元年12月8日(日) 14:00 ~ 16:00 【天候】 晴

【場所】 盛岡合同庁舎5階

【参加者総数】 27名

(1) 環境省: 荒巻管理官、工藤AR 2名

(2) 講師: 岩手県防災航空隊 中村 耕輔 隊長 1名

(3) 岩手山地区パークボランティア 24名

【概況】

(文責: 家子)

- ・ 荒巻管理官の挨拶に続いて、講師の紹介、その後、パワーポイント、動画、救助の実技等をユーモアを交えながら講演が行われた。
- ・ 演題は「**山岳遭難に伴う捜索・救助活動について**」・・・主な講演内容は以下の写真のとおり。

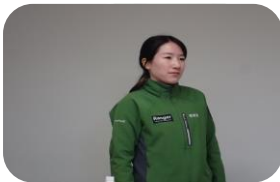
※感想・講演内容が充実しており、ヘリコプターの捜索・救援活動について、詳細に学習することができた。

〈今回参加PV〉

24名敬称略、順不同

川崎、岡野、阿部、米田、齋藤、戸澤(武)、広野、今宮、戸澤(美)、畑中、三上、米澤、民部田、畠山、吉田(成)、上村、佐々木(義)、三浦、佐々木(貴)、高橋、木村、浪岡、福山、家子

〈写真提供〉浪岡PV



荒巻管理官挨拶



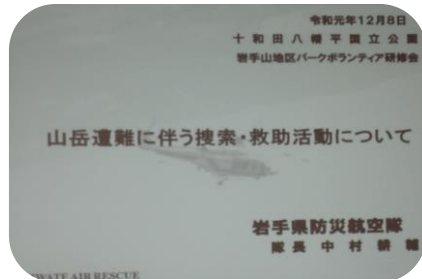
中村隊長さんの自己紹介と講演

※現在岩手県で活躍しているヘリは3台

ドクターヘリ →

岩手県防災ヘリコプター
「ひめかみ」

警視庁 ↓



岩手県防災ヘリコプター
ひめかみ JA10TE
型式 アグスタ式 AW139型
定員 17名 双発タービンエンジン
最大出力 3,358SPH
最大速度 310km/h
航続距離 780km
航続時間 3時間

防災ヘリコプターの仕事

1. 応急災害対策活動
2. 消火活動
3. 救助活動
4. 救急活動



〔記録写真〕「令和元年度十和田八幡平国立公園
岩手山地区パークボランティア研修会」(2/2)ー
主催 環境省盛岡管理官事務所



※座って吊り上げ救助用具！

防災ヘリコプターって？
 ・「消防」は、市町村の仕事
 ・消防活動に航空活動は必要
 ・しかし市町村単独でヘリコプターを運用するのは困難
 ∴県がヘリコプターを保有し、各市町村を『支援』

ヘリコプターの特性
メリット
 1 比較的狭い場所への着陸が可能
 2 空中停止(ホバリング)等の自由な動きが可能
 3 ホイスト装置による吊上げ、吊下げ可能
 4 機動力



※横になって吊り上げ救助用具！

ヘリコプターの特性
デメリット
 1 天候に左右される
 2 ダウンウォッシュが発生する
 3 騒音
 4 燃料消費

※この吊り金具どうやって開けるの！



荒巻管理官の体験

※音が全く聞こえない！がパイロットと交信できる

※ダウンウォッシュ:風圧

※仕事で心がけていること。
 A: 当たり前のことを
 B: ぼんやりしないで
 C: しっかりやる

現場におけるヘリコプターの誘導
 携帯電話等の誘導要領
 要請者:「ヘリコプターの音が聞こえる。近づいてきた。(離れていった。)」
 要請者:「ヘリコプターの右側(左側)が見える。」
 要請者:「ヘリコプターの2時方向にいます。」
 要請者:「ヘリコプターは別の尾根を飛んでいる。山頂に向かって一本左側の尾根にいる。」

ヘリコプターが救助を開始した時に
 ダウンウォッシュで転倒しないように姿勢を低くする。
 タオルや帽子など飛びそうなものをバックのなかへ
 隊員が降下中に指示があるまで近づかない

災害から多くの命を救うために
 ・災害現場では各機関との情報共有が不可欠
 ・各機関・組織の活動内容や装備を把握してこそ安全、効率的、効果的な活動となる。
 ・訓練や講習会などの機会をとらえ、顔の見える関係の構築を積極的に努める。

救助活動で役立つもの
 1. 点滅するヘッドライト
 2. 白いタオル
 3. 傘
 4. 鏡
 ※発煙筒は持っているとな熱くなるので好ましくない。

閉会式: 工藤補佐



中村隊長さんを見送る

